



第1232号
2011年12月4日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB:http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL:comm.tko@nsk.org
Phone:03-3433-0987, Fax:03-3433-8678 Diocese Office

主キリストの降誕は、神の国の到来と
実現の喜びです。およそ相応しいとは思
えない人に向かって、「あなたは神の民
であって、神の子に相応し
い人なのだ」、といわれて
驚き、戸惑い、退く人に、
「安心しなさい、いつもあ
なたと共にいるのだ」と、
神の言葉は招き、励
ましてくれます。私を今
日まで支えてくれているの
は、「きつと大丈夫だ
よ」、「それでいいんだ
よ」と言う親しい友と隣人
の言葉であったのだと思
います。そして、私達がキリ
スト者であることの恵み
は、隣人の心ある言葉を、神の言葉とし
て聞くことのできる幸いであり、またそ
の隣人になれることの幸いなのだと思います

《み手のなかで》

逆 転 へ の 期 待

人生の行き詰まりや、挫折の経験にこ
そ、実は逆転へのきつかけと感動がある
のだと思います。イエス・キリス
トの死、しかも十字架の死と復活
は、死が滅びではなく、勝利や希
望があることを現す逆転でした。
そしてキリスト者とは、その逆転
と一緒に与っているのです。「み
手の中で」とは、私達が次々と獲
得することによって満たされるこ
とを求めている人生にあつて、一
つずつ失いながら歩む現実を、戸
惑いながらも認めつつ、思いを超
える逆転を期待して、願いと祈り
によって、望みを生きることなの
だと思えます。たとえ何も無いよ
うに思えていても、どうしようも無いと
思えていても。

(神田キリスト教会副牧師)

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

聖信受領

11月27日 聖パトリック教会
猪熊大介 菅原裕美 山本翔
歩 柳沢光輝(聖パトリック)
12月聖路加国際病院礼拝堂
《夕の祈り》 7日(水) 18時
半、オルガン演奏に引き続き19
時から。演奏者 山田由希子。
入場無料(会場献金)。

12月ランチタイム・オルガ
ンコンサート * 聖パウロ 9
日(金)、堀切麻里子 * 聖テモ
テ 20日(火)、小野田良子 *
神田キリスト 21日(水)、和田
純子。各々12時20分から30分程
度、入場無料。

12月銀座朝禱会(第2・第
4火曜7時半) 13日「ゲス
ト・神崎雄二司祭 27日。喫
茶室ルノアール・ニュー銀座。

照会 042(796)149
8・世話人・松田。
12月西新の会(第2・第3
火曜) 13日19時半 聖餐式・
聖書の学び(鈴木裕二司祭)
20日10時半 聖書の学び(田光
信幸司祭)。井草地域区民セン
ター。照会 03(3951)5
010・目白聖公会。
「いつしよに歩こう!」
被災者支援チャリティイベント
聖マーガレット教会 出
演 北大合唱団東京OB会クラ
ーククラブ。12月11日(日) 14
時。無料(会場献金)。照会
(3334)2812・同教会。
月島聖公会クリスマスコン
サート 出演 アンサンブル・
カンタビール。17日(土)
16時。無料(会場献金)。照会
03 16

今週・来週の予定
12月4日~17日

4(日)	降臨節第2日	日会
6(火)	聖職養成委員	員協議会
7(水)	外濠G牧師協	議会
9(金)	広報委員	員会
11(日)	降臨節第3日	日主
12(月)	合堅信式	会
13(火)	信仰委と生	活委員
14(水)	聖職養成委	員会
15(木)	財政委員	会

11月25日 島守 悦子(63)
聖ルカ
11月10日 斎藤 博(78)
立教諸聖徒
八王子復活
11月9日 金原 以作(92)
「一杯のコーヒ」
とこしえの平安

11月27日付発行・配布
教区HP主教メッセージ更新
支援対策本部ニュースNo.6を
(6225)0475・同教会。

秋の教区会開かる

東京教区第117(定期)教区会は11月23日(水・休)、定刻の午前9時より聖餐式をもって開始された。出席者は教役者議員44名中36名、信徒代議員71名中66名の出席(第1回占呼時)。

今回、事前に配布された議案は、「12年度予算案」など7件、また、議場から動議により提出された議案「原発廃止を日本聖公会東京教区として表明する。また政府に原発廃止を要望する件」を加え、8件が議場において審理された。

「分担金算出方法及び最終案の決定に関する件」では教役者給与の30%を派遣教会の自給分とし、教区諸経費については信徒数で按分する等の案が説明さ

れた。これに対し、「現行の制

度や組織など体制を温存しながら、分担金の負担方法を議論することに無理があるのではないか」との意見が出された。教区主教からは「制度全体を見直さなければ教区は成り立っていない」との見解が述べられた。

審議の上、可決された議案は次の通り

- 第1号議案・月島聖公会牧師館及び礼拝堂付属建物の取壊しと礼拝堂及び牧師館新築の件
- 第2号議案・基本財産の一部除去と一部財産の基本財産組入れ承認の件
- 第3号議案・聖救主教会牧師館購入承認の件
- 第4号議案・基本財産組入れの件
- 第5号議案・教区費分担金算出方

法及び最終案の決定に関する件

- 第6号議案・2012年度教区収支予算案承認の件
- 第7号議案・東日本大震災被災地支援金拠出の原資等についての会計処理の件

なお、第8号議案「原発廃止を日本聖公会東京教区として表明する。また政府に原発廃止を要望する件」については趣旨を理解しながらも継続審議とし、声明文案を作成し、春の教区会に再提出することになった。

議事進行に合わせ、日本聖公会総会代議員の選挙が実施された。選挙の結果、聖職代議員は佐々木道人司祭と山口千寿司祭、信徒代議員は山田益男氏と松田正人氏が当選された。

議事は、定刻17時に終了、主の祈り・頌栄をもって散会した。

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

【クローズアップ】¹⁰³

チャリティー・デイ報告

去る11月3日に聖アンデレ教会の協力を得て、東京に避難している方々を迎えてチャリティー・デイが行われました。これは、当初東京赤坂プリンスホテルに主として原発事故の関係で避難していた方々への支援を、カトリック麹町教会、法律家を中心とした支援団体「とすねつと」、「聖公会東京311ボランティアチーム」が協力して行っていたものですが、今回、東京教区支援対策本部が東京教区の各教会、信徒の皆様方の協力を仰ぎ、これをお手伝いする形で行われました。当日は、教会のみならず関係団体等のボランティアも参加してくださり、バ

ザールをはじめ、児童祝福式なども含む盛りだくさんのプログラムが用意されました。

天気にも恵まれ、子ども連れの避難者の方々がおよそ130〜140名来てくださいました。また、それを迎えるボランティアも教会関係でおよそ160名、カトリック教会等の関係でおよそ30名の方々が参加してくださいました。また大畑主教をはじめとする聖職の方々も、児童祝福式や最後の礼拝にご奉仕くださいました。避難者の方々は、子どもさんと離れて買ひ物をしたり、家族や友人と食事をしながら、ゆつくりとした時間を過ごしたり、楽しそうにしていらっしやいました。特に、写真サービスは好評で、多くの方が撮影して

おられました。皆さんからは、食事のおいしさ、バザールの品物の多さ、子ども達の楽しそうな様子に対し、感謝の声を頂きました。

今回初めての試みとして行いましたが、本当に多くの教会・信徒の皆様にご協力いただき、何とか無事終えることができました。皆様のご協力と多くの賜物にあらためて感謝したいと思えます。今後このような活動がどの様に行っていくかは分かりませんが、東京教区として現地は勿論、東京に避難されている方々に対する支援も、できることを模索しながら実施することができればと考えています。

教区支援対策部長

後藤 務